



プレスリリース

エイズ終結に向け、コミュニティや HIV に影響を受けている人たちが直面するすべての不平等を解消する新たな誓約を世界が採択

世界のリーダーは、2025 年までに年間の新規 HIV 感染者数を 37 万人未満、エイズ関連の死亡者数を 25 万人に減らし、子供の新規 HIV 感染をなくして小児エイズを終結させ、HIV 関連のあらゆるかたちの差別を解消をはかることに世界の指導者が合意。また、2025 年までに 3400 万人に対し、命を救う HIV 治療を提供することも約束。

ニューヨーク 2021 年 6 月 8 日 – 国連加盟国は 8 日、ニューヨークで開催したエイズに関する国連総会ハイレベル会合で政治宣言を採択し、2025 年に向けた新たな野心的ターゲットを設定しました。国際社会がこのターゲットを達成すれば、2030 年までに 360 万人の新規 HIV 感染と 170 万人のエイズ関連の死亡を防ぐことができます。

新政治宣言は、疫学的に感染のリスクがある集団や年齢層、地域において、95%の人が効果的かつ人を中心とした HIV のコンピネーション予防の選択肢を利用できるようにすることを各国に求めています。また、HIV 陽性者の 95%が自らの HIV 感染を知り、感染を知っている人の 95%が HIV 治療を受け、治療を受けている人の 95%が体内のウイルス量の抑制を維持できるようにすることも各国に求めています。

「これからの行動の 10 年で、持続可能な開発のための 2030 アジェンダを実現するには、すべての加盟国が 2030 年までにエイズ流行終結を改めて約束しなければなりません」と国連総会のヴォルカン・ボズクル議長は語っています。

また、アミーナ・J・モハメッド国連副事務総長は「エイズ終結には、新たな HIV 感染の原因となり、人びとのサービス利用を阻む不正義の連鎖に終止符を打たなければなりません」と述べました。

政治的宣言は、キーポピュレーション（ゲイ男性など男性とセックスする男性、セックスワーカー、注射薬物使用者、トランスジェンダーの人たち、刑務所や閉鎖された環境にいる人たちなど）が HIV 感染のリスクにさらされ、暴力やスティグマ、差別に直面する可能性が高く、法律によって移動やサービスの利用を制限されるおそれもあることを深い懸念とともに指摘しています。加盟国は、2025 年までにサービスへのアクセスの拒否または制限につながる規制的な法律と政策的枠組みを持つ国を 10%未満に減らすという目標に同意しました。また、HIV 陽性者や HIV 感染のリスクに直面している人たち、HIV に影響を受けている人たちの間でスティグマと差別を受ける人の割合を 10%未満に減らすこと、そのために undetectable = untransmittable (U=U、ウイルス量が検出限界値未満なら HIV は感染しない) という考え方を広げることとも約束しています。

「加盟国に感謝します。40 年にわたりコミュニティを荒廃させてきたエイズパンデミックを終結軌道に乗せるために、野心的な政治宣言を採択していただきました」と国連合同エイズ計画 (UNAIDS) のウィニー・ビヤ

ニマ事務局長は話しています。

政治宣言は、思春期の若者、とりわけサハラ以南のアフリカの若者の新規 HIV 感染に懸念を表明し、2025 年までに思春期の少女と若い女性の新規 HIV 感染者数を 5 万人未満に減らすことを約束しています。HIV 陽性の女性や HIV 感染のリスクにさらされている女性、HIV の影響を受けている女性が直面する様々な差別と暴力に対処するための法律を採択し、施行することで、近親者間を含め、あらゆる形態の性的暴力およびジェンダーに基づく暴力をなくすことを加盟国は約束しました。HIV に影響を受けている女性と少女、人びとの間で、ジェンダーに基づく不平等、性的暴力やジェンダーに基づく暴力を経験する人の割合を 2025 年までに 10%以下に減らすことも加盟国は誓約しています。さらに、性と生殖に関する健康を含め、すべての女性が強制や差別、暴力を受けることなく、セクシュアリティに関する権利を行使できるようにすることを約束しました。

各国はまた、HIV 感染のリスクに曝されやすく、対応を優先すべき他の人口集団を特定するために、国の疫学データを使用することも求められています。そうした人口集団としてはたとえば、障害を持つ人たち、民族的および人種的マイノリティ、先住民、地方のコミュニティ、貧困層、移民、難民、国内避難民、軍人、人道上の緊急事態下にある人たち、紛争や紛争後の状況にある人たちなどが考えられます。各国はまた、HIV 陽性者、HIV 感染のリスクにさらされている人たち、HIV の影響を受けている人たちの 95%が、COVID-19 を含むパンデミックから確実に保護されるようにすることを約束しています。

「HIV と COVID-19 のパンデミックが同時進行することで露呈した深刻な不平等は、すべての人に対し差別することなく健康の権利を実現することを優先課題として重視し、十分な投資を行うよう世界に警鐘を鳴らしています」とウィニー・ビヤニマ事務局長は述べました。

加盟国はまた、エイズ対策を強化し、十分な資金を確保することを約束しました。2025 年までに低・中所得国に年間 290 億ドルを投資することに合意しています。この中には、人権の保護、偏見と差別の解消、法改正など社会的課題の実現要因に向けて少なくとも 31 億ドルの投資を行うことも含まれています。また、社会契約その他の公的資金メカニズムを通じ、ピア主導の HIV サービスの提供を含めることも約束しています。

結核の予防・スクリーニング・診断・治療・ワクチン接種のための最新技術に対するアクセス拡大を呼びかけ、加盟国は 2025 年までに HIV 陽性者の 90%が結核の予防的治療を受け、エイズ関連の結核による死亡を 80%減らすことに合意しました。各国はまた、知的所有権の貿易関連側面に関する協定 (TRIPS) に基づく柔軟性を活用し、知的財産権条項が TRIPS 協定および公衆衛生に関するドーハ宣言に示されている既存の柔軟性を損なわないようにすることにより、安全で効果的で品質が保証された医薬品を世界全体で利用でき、手ごろな価格で入手できるようにすることも約束しました。その中には、HIV 感染と重複感染、およびその併存症を予防、診断、治療するためのジェネリック医薬品、ワクチン、診断薬、その他の健康技術が含まれています。

「エイズ対策はいままも、何百万もの人を取り残したままです。LGBTI の人たちやセックスワーカー、薬物使用者、移民および受刑者、10 代の若者、女性、子供。そのすべては、いまこの部屋にいるほとんどの人が享受しているのと同じ権利と尊厳をもって生活を送るに値する人たちなのです」と HIV 陽性の女性で、世界 HIV 陽性者ネットワーク (GNP+) メンバーのヤナ・パンフィロさんは語りました。

ハイレベル会合には、各国の国家元首や政府首脳、閣僚、政府代表、HIV 陽性者、市民社会組織、HIV に影響を受けているキーポピュレーションおよびそのコミュニティ、国際機関、科学者、研究者、民間部門

関係者らが直接またはバーチャルで参加しています。UNAIDS は、各地域レベルにおける協議、ハイレベル会合への市民社会組織の参加を支援してきました。市民社会組織は加盟国に対し、より強力な決議を採択するよう求めていました。

「グローバルコミュニティは大きな進歩を遂げてきましたが、それでもまだ目標は達成できず、人びとの命がその代償になっています。目標を達成できていない理由はただひとつ。不平等です」とシャリーズ・セロン・アフリカ・アウトリーチ・プロジェクトの創設者であり、国連ピースメッセンジャーでもあるシャリーズ・セロンさんは語っています。

加盟国はまた、25年にわたる国連合同エイズ計画 (UNAIDS) の経験と専門知識を支援し、活用していくことを約束しました。UNAIDS が世界のエイズ対策を引き続き主導し、パンデミックへの備えとグローバルヘルスを支援できるよう、対策に十分な資金を提供することも約束しています。

UNAIDS のプログラム調整委員会が 2021 年 3 月 25 日に全会一致で採択した『世界エイズ戦略 2021-2026：不平等に終止符を そしてエイズ終結を』および 2021 年 3 月 31 日発行の国連事務総長報告書『不平等の解消に取り組み、2030 年のエイズ終結に向けた軌道に戻る』と同様に、今回の政治宣言が、包括的なセクシュアリティ教育、性と生殖に関する健康と権利、性的指向と性自認、そしてエビデンスに基づく HIV 予防の選択肢の無条件の受け入れに関し、さらに強い約束を行ったことを UNAIDS は歓迎します。エビデンスに基づく HIV 予防の選択肢とは、ハームリダクション、HIV 感染やセックスワーク、薬物使用などの非犯罪化、同性愛者の性的関係を犯罪とする法律の撤廃、命を救うために必要な医薬品やワクチン、技術の利用を広げるための知的財産権の規則のさらなる柔軟性の確保などです。

2020 年には、世界の HIV 陽性者 3760 万人のうち 2740 万人が治療を受けています。2010 年には 780 万人にとどまっていたことと比べると、大きく増加しました。手ごろな価格で質の高い治療が普及したことにより、2001 年以降に 1620 万人の死亡が回避できたと推定されています。エイズ関連の死亡者数は、2010 年当時と比べると 43%減少し、2020 年には 69 万人になりました。新規 HIV 感染も減少していますが、その減少の速度は著しく遅くなっています。推計では 2010 年に年間 210 万人だったのが、2020 年には 30%減の年間 150 万人でした。

UNAIDS

The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS (UNAIDS) leads and inspires the world to achieve its shared vision of zero new HIV infections, zero discrimination and zero AIDS-related deaths. UNAIDS unites the efforts of 11 UN organizations—UNHCR, UNICEF, WFP, UNDP, UNFPA, UNODC, UN Women, ILO, UNESCO, WHO and the World Bank—and works closely with global and national partners towards ending the AIDS epidemic by 2030 as part of the Sustainable Development Goals. Learn more at unaids.org and connect with us on Facebook, Twitter, Instagram and YouTube.